

第21回科学者委員会議事要旨（メール審議）

1 議決日 平成25年5月29日（水）

2 審議内容

提案1 東北地区会議公開学術講演会の実施について

（9月14日（土）、八戸市で開催、別添資料）

提案2 6名の会員、連携会員の申し出による所属地区会議

の変更について（別添資料）

提案3 九州・沖縄地区会議運営協議会の代表幹事の交替に

ついて

（新）箱田裕司会員 （旧）吾郷眞一会員

3 結果

提案1、提案2、及び提案3について原案のとおり承認され、

幹事会に提案されることとなった。

平成 25 年度日本学術会議東北地区会議公開学術講演会（案）
サイエンストーク「宇宙ファミリー」

1. 主催

日本学術会議東北地区会議

2. 共催

八戸工業高等専門学校、日本学術会議科学と社会委員会科学力増進分科会、
日本学術会議同友会東北部会

3. 後援(予定)

青森県、青森県教育委員会、八戸市、八戸市教育委員会、NHK 青森放送局、
デーリー東北、東奥日報、青森放送テレビ、青森テレビ、青森朝日放送

4. 日時

平成 25 年 9 月 14 日(土) 13:30~16:45

5. 場所

八戸市総合福祉会館 「はちふくプラザ ねじょう」(予定)
〒039-1166 青森県八戸市根城八丁目 8-155

6. 開催趣旨

小惑星探査機「はやぶさ」が奇跡的に地球へ帰還したことは、国民に大きな感動を与えました。現在、「はやぶさ」が持ち帰った小惑星「イトカワ」の微粒子について国際研究が実施されるなど、宇宙に対する興味はつきません。日本学術会議の会員である川口淳一郎先生、須藤靖先生と、宇宙飛行士向井千秋さんの夫である向井万起男先生をお招きし、最近の宇宙科学のお話をさせていただくことになりました。多くの皆様のご参加を期待致します。

7. 次第

I. 開会挨拶(13:30~13:40)

大西 隆(日本学術会議会長、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
特別招聘教授)

II. サイエンストーク

(1) (13:40~14:15)(質疑応答 14:10~14:15)

川口 淳一郎(日本学術会議第三部会員、(独)宇宙航空研究開発機構
・宇宙科学研究所・宇宙飛躍工学研究系教授、シニアフェロー)

題目：太陽系大航海時代の幕開け

(2) (14:15~15:00) (質疑応答 14:55~15:00)

須藤 靖 (日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教授)

題目：もうひとつの地球の色は何色？

(3) (15:00~15:45) (質疑応答 15:40~15:45)

向井 万起男 (医師、元慶応義塾大学病院病理診断部部長・医学部助教授)

題目：(未来の有人宇宙旅行 ―宇宙兄弟のお話― (仮題))

～休憩 (15:45~15:55)～

Ⅲ. パネルディスカッション (15:55~16:45)

(「はやぶさ」に続く次の計画。第二の地球・系外惑星の話・宇宙の生命体。火星の有人探査について。(予定))

8. 人数：先着 300 名

9. 参加料：無料

地区会議の構成員の変更について（案）

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議案 標記について、以下のとおり決定すること。
- 3 提案理由 日本学術会議地区会議運営要綱第5の規定に従い、勤務先の変更等により、次に掲げる者が所属地区の変更を申し出たため。

記

地区会議の構成員の変更について

氏名	旧所属地区	新所属地区	備考
宮原 秀夫	関東地区	近畿地区	連携会員
成田 吉徳	九州・沖縄地区	中部地区	連携会員
内匠 透	中国・四国地区	関東地区	連携会員
糠塚 康江	関東地区	東北地区	連携会員
大川 匡子	近畿地区	関東地区	連携会員
木村 真人	中部地区	関東地区	連携会員

【参考】

●日本学術会議地区会議運営要綱（抄）

（各地区の構成員）

第5 前項「第4」で挙げた各地区の構成員は、原則として当該地区に勤務地（勤務地がない場合は居住地）を有する会員及び連携会員とする。ただし、会員又は連携会員は、申し出により、科学者委員会及び幹事会の議を経て、所属地区を変更することができる。